

平成29年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	羽咋勤労者総合福祉センター		
指定管理者	公益社団法人 羽咋市シルバー人材センター		
住所	羽咋市千里浜町カ1番地20	選定方法	非公募
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日		
指定管理料	2,950千円(平成29年度現計予算額)		
評価担当課	商工観光課		
年度重点目標	利用人数の5%増加		

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
		中間	年間		
1 職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A		現地	・タイムカード、勤務簿で確認
	事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A		現地	・安全防火研修(6月)、経理研修(2月予定)。 ・防火管理者は1名が取得済
	指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	A		書類	・再委託承認申請書の提出を確認
2 施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A		現地	・年度協定書と利用状況報告書や聞取りなどで確認
	整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A		現地	・週2回清掃、年1回ワックスがけ ・シルバー会員の講習を兼ねて屋外樹木剪定
	法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A		現地	・利用状況報告書で確認
	保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A		現地	・利用状況報告書で確認
	備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A		現地	・備品台帳確認 ・AED、ケースを新規購入
3 サービス向上への取組状況 (アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A		現地	・HP、フェイスブックを利用
	特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A		現地	・実績報告書を確認
	利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	A		現地	・意見箱を常設 ・アンケートは11/20～12/19実施予定
	苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		現地	・苦情等を受けていないか確認
4 防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A		現地	・緊急マニュアルや防火管理維持台帳で確認 ・自衛消防訓練実施(9月) ・職員、会員へAEDの講習実施(7月)
	リスクに応じた保険等に加入しているか。	A		現地	・利用者に対する施設賠償責任保険(日本興亜損保)の加入を契約書にて確認

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考	
		中間	年間			
5	個人情報保護の措置状況	個人情報 は適正に管理されているか	A		現地	・今年度分・前年度分は事務室に、それ以前の分は倉庫(カギ付き)に保管
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A		現地	・帳簿の区別を確認
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A		現地	・予算執行状況報告書で確認
		定められた料金を適正に收受しているか。	A		現地	・聞き取りによる
7	施設利用状況	前年同期と比較し、利用者数・施設稼働率等に著しい差異がないか。ある場合は、その原因は何か。	A		現地	・利用状況報告書で確認 ・和室の冷房が効かない状況であり、利用団体減少傾向
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A		現地	・毎月10日までに、利用状況報告書が提出されている
9	アンケート調査意見及び対応	アンケートは下半期に実施予定。常設の意見箱に苦情等なし。 口頭で、以下2点要望あり。 ・和室の冷房設備設置、トイレのウォッシュレット設置 → 平成30年度予算にて設置検討				
10	今後、検討・調整が必要な事項	施設の老朽化(築後29年経過)に伴い、軽微なものも含めて修繕箇所が多発している。優先順位を定め計画的な修繕が必要。				
11	今後の管理方針	・立地を活かし、市内外を問わず施設の周知活動を積極的に行い、収入の増加を図る。				
総合評価	中間評価		年間評価		平成28年度	平成27年度
	A				A	A